

# 一生に一回の成人式がなくなった

市の成人式(二十歳の集い)は、コロナのために8月に順延。参加希望者全員の抗原検査を行い、陰性の人だけ認める予定でした。しかし、8月の感染爆発を受け、全国知事会が「県境を超えての移動」を自粛するよう呼びかけ。市は、今回の「二十歳のつどい」は釧路管外からの参加は認めないことにしました。遠方から帰省を兼ねて、成人式に参加しようと考えていた人たちには、突然の足止めです。

人流を抑えるために市の判断は間違いとは言えません。しかし、成人式は一生に一回。インターネットでの参加はできましたが、この人たちにはもう一生、成人式は回ってきません。

検査で陰性でも先行接種でワクチンが終わっていても、参加はできません。感染を広げないために参加を断念した思いに、寄り添うことはできないのでしょうか。



## 一年遅れの成人式を

こうした話を耳にした村上議員。娘の父親でもありますので、親御さんの残念な気持ちもよくわかります。

9月議会の一般質問で・・・  
「コロナ終息後に、一年遅れ、●年遅れの成人式を特別に開いてはどうでしょうか？」と提案しました。

市は、再度の成人式は難しいとは思いますが、来年の成人式に向けてなにかできないか検討したいと答弁しました。

## 後期高齢者医療、 とんでもない保険料推計間違い

R2年度の決算審査でのことです。75歳以上の方だけを別の保険制度にくくっているのが「後期高齢者医療制度」です。



村上議員が、「当初予算と決算が歳入・歳出ともに大きく違いますが、要因は何か？」と聞くと、「市町村の保険料について北海道が試算をして、その額を歳入と歳出に計上することになっています。しかし、秋になって、道から計算間違いをしたので予算を補正して、不足分を追加納入して下さいと指示されました」というのです。

幸い、被保険者の保険料が値上げになることはありませんでしたが、それにしても信じがたい話です。道の責任とは言え、全道の全ての市町村が同じ間違いをしたことになるのですから・・・。

4年に一度のオリンピックは強行。世界最大のイベントをやるのに、成人式ではダメ。納得できません。



マイナンバーカードの決算にも異議あり  
マイナンバーカードの交付にかかわる「個人番号カード交付事業費」。実は当初予算が、決算額を毎年かなり上回っています。  
当初予算は、国から「この額を予算化してください」と指示されます。しかし、その根拠も計算式も全く示されませんままです。  
結果として、年度末になると大きな「余り」が出てしまいます。国のカード普及の見込みが実態より過大なために起きているのではないのでしょうか。